

<支部大会規定>

1. チームの登録選手は、**20名以内**とする。
2. 出場選手は、大会参加申込期限までに支部に登録済みの者に限る。
3. 小・中学部とも女子の出場を認める。また、小学部は2人まで3年生の出場を認める。
4. 登録選手及び登録された監督・コーチ2名及びマネージャー(女子でも良い)のみベンチに入ることができる。
5. 監督またはコーチが、何らかの事情で指揮をとれない場合は、その旨を本部(球場責任者)に届出し、指導者名簿に登録されている者が代理を務めることができる。その場合、代理者はユニホームの袖に監督代行のリボンをつける。
6. 監督(背番号60)、第1コーチ(背番号50)及び第2コーチ(背番号55)は、選手と同じユニフォーム(スパイク同色)を着用すること。
ベンチマネージャーは、試合帽を着用し、服装は、黒か紺のズボンに、冬場(10月～5月)はチームジャンパー、夏場(6月～9月)は白のTシャツで、靴はシューズとする。
また、主将はマーク(縦2cm×横10cm)を背番号の上につけること。
7. 組合せの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。
また、監督、コーチ及びマネージャーは、試合開始時には選手と共にベンチ前に整列すること。
8. 試合開始時間1時間前に試合会場に到着し、到着と同時にスターティングメンバー表を3部本部に提出し、所定の審査を受ける。
9. チームが試合開始予定時間にグラウンドに集合できないときは、棄権とみなす場合がある。その場合は7対0のコールド負けとする。
なお、交通事故等の緊急事態が発生し、事前に連絡があった場合は本部で協議し、試合時間を変更して行う場合もある。
10. 審査は、第1試合はグラウンド内で同時に行い、2試合目以降は、前試合の3回終了と同時に、危険のない場所を確認して行う。進行状況を的確に把握し、遅れが出ないように配慮すること。
11. 登録選手全員 **セーフティーカップを着け**、審査を受けること。
12. メンバー表交換時に、キャプテンにより先攻・後攻をジャンケンで決める。
13. 試合は公認野球規則によって行い、当連盟のルールをもって補う。試合球は支部から支給する。
14. 試合は**小学部6回、中学部7回**とするが、**小学部は1時間30分、中学部は2時間を超えて新しいイニングに入らないもの**とする。
但し、ここに定められた時間内であれば、準決勝戦までは延長1回、それでも決着がつかない場合1回エキストラ(ノーアウトで打者は、最終回の最後の打者の次打者からとし、走者は打者の前の3人とする)を認める。それでも決着がつかない場合は、最終メンバー(9人)によるジャンケンとする。
決勝戦は、時間内であれば延長2回、エキストラ2回、それでも決着がつかない場合は、最終メンバー(9人)によるジャンケンとする。
15. 小学部は**4回以降7点差、中学部は5回以降7点差で、コールドゲーム**とする。但し、決勝戦のみコールドはない。
16. シートノックは後攻チームから、開始のコールド時より5分間とする。相手チームは必ずベンチ内で待機すること。
17. 監督またはコーチが、投手に対する指示を与える目的を持ってタイムを要求する場合、直接・間接を問わず、**1試合3回まで**とし、それ以降のタイムは認めない。

18. 監督またはコーチが選手にアドバイスする時は、フェールラインの所で行うこと。(ベンチからは駆け足で、遅延行為とならないように速やかに行うこと。)
なお、中学部は選手を伝令として行うこと。
19. 投手は原則として、**ダブルヘッダーの連投はできない**。しかし、小学部は投球回数が6回を超えていない場合、次の試合との合計が6回になるまで認める。(中学部は7回)
なお、**小学部は変化球を禁止**する。(中学部は9月1日から翌年3月31日まで禁止)
20. 小学部の塁間及びピッチャープレートとホームプレート間は次のとおりとする。
 - ・ 塁間…23m
 - ・ ピッチャープレートとホームプレート間…16m
21. ボークは警告なしで宣する。(小学部は1度警告する)
小学部の偽投は禁止する。
22. ヘルメットは**1チーム10個以上**同色のものを備えること。
23. 捕手は、ヘルメット、面、プロテクター、レガース、及びカップ一式を着用のこと。なお、カップについては野手も必ず着用すること。
24. 捕手用具は、**2セット**準備すること。(審査の対象となる。)
25. ブルペンでの投球練習は、**捕手は用具一式**を着け、**投手もヘルメット**を着けて行うこと。(野手のキャッチボールについてもヘルメット着用)
26. ブルペンでの投球練習は原則として投手は**ベンチ側から外野方向へ向かって**投球すること。
27. **グラウンドボーイもヘルメットを着用**すること。
28. 小学部のバットの長さは**82cm以下**とする。
29. 手袋は使用可とする。ただし、**守備の時の投手は不可**とする。
30. グラウンド内での選手及び指導者のサングラスは不可とする。
31. マスコットバットはグラウンド内への持込み可とするが、リングは不可とする。
32. 試合中のグラウンド内での次打者の素振りは禁止する。(次打者は、サークル内で膝をつけて待つ)
33. D. H制(指名打者)ルールについて
 - (1) 試合前に指名しなかった時は、その試合で指名打者を使う事は出来ない。
 - (2) 指名打者に代えて、代打を使っても良い。それ以後指名打者となる。
 - 退いた指名打者は再び出場出来ない。
 - (3) 指名打者が守備についても良い。打撃は自分の打順の所で打つ。
 - 但し、D. H制は、その時点で終了とする。
 - (4) 指名打者の打撃順は番が固定されており打順を変える事は出来ない。
 - (5) 指名打者に変わり出場させようとするプレーヤーは指名打者の番が来るまで届け出る必要はない。